

多文化共生に関する実態調査

- 概要版 -

令和 7 年 3 月

鹿児島県 男女共同参画局

くらし共生協働課

1 調査の概要

(1) 調査目的

日本人県民と外国人県民が共に暮らしやすい地域づくりなど、多文化共生の実現に向けた今後の取組（施策等）に資する。

(2) 調査期間

令和6年7月15日 ～ 令和6年7月31日

(3) 調査の対象・実施方法等

区分	調査対象	調査方法	回収状況
外国人県民 アンケート	外国人県民 3,000 人 (県内在住の 18 歳以上の外国籍の者)	郵送配布/ オンライン回収	607 人 (回収率 20.2%)
日本人県民 アンケート	日本人県民 1,500 人 (県内在住の 18 歳以上の日本国籍の者)	郵送配布/ 郵送及びオンライン回収	605 人 (回収率 40.3%)

(4) 外国人県民アンケートでの使用言語

使用言語				
・やさしい日本語	・英語	・ベトナム語	・タガログ語	・インドネシア語
・中国語（簡体字）	・ネパール語	・ミャンマー語	・韓国語	

(5) 調査項目

区分	調査項目
外国人県民 アンケート	・属性（年代、性別、国籍、在留資格、居住歴） ・言葉（日本語能力 等） ・相互交流（日本人との付き合いの程度 等） ・暮らしや意識（困り事や不安、相談相手、情報収集の手段、仕事で重要なこと、鹿児島の魅力 等） ・相互理解（相互理解に必要なこと（対日本人） 等） ・行政に求める取組（行政に求める取組 等）
日本人県民 アンケート	・属性（年代、性別、職業） ・言葉（「やさしい日本語」の認知度 等） ・相互交流（外国人との交流の程度 等） ・暮らしや意識（外国人の増加による影響、「多文化共生」の認知度、多文化共生の必要性 等） ・相互理解（相互理解に必要なこと（対外国人） 等） ・行政に求める取組（行政が力を入れるべき取組 等）

(6) 調査結果を見る際の注意事項

- 図表の「n」の数値は質問に対する回答の総数を、「%」は百分率を表す。
- 百分率（%）の数値は、端数処理（小数点第二位で四捨五入）をしており、合計が 100% とならないものがある。

2 調査結果の概要

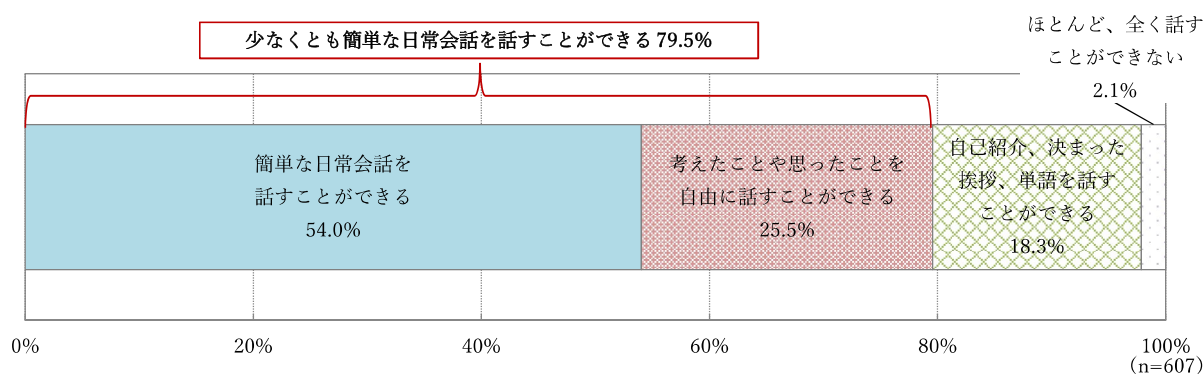
(1) 回答者の属性			
		外国人県民	日本人県民
年 代	19歳以下	1.3%	1.2%
	20歳代	56.0%	6.0%
	30歳代	22.2%	8.6%
	40歳代	10.4%	15.5%
	50歳代	5.8%	13.4%
	60歳代	2.5%	22.0%
	70歳代以上	1.2%	30.1%
	答えない・無回答	0.7%	3.3%
性 別	男性	44.3%	41.7%
	女性	40.7%	54.0%
	答えない・無回答	15.0%	4.3%
国 籍	インドネシア	26.7%	
	ベトナム	22.1%	
	フィリピン	13.3%	
	中国	11.0%	
	ミャンマー	7.1%	
	ネパール	3.5%	
	韓国	3.0%	
	その他	13.3%	
在留資格	技能実習	37.4%	
	特定技能	16.6%	
	永住者	12.4%	
	日本人の配偶者等	9.1%	
	技能・人文知識・国際業務	8.1%	
	留学	6.6%	
	その他（定住者、その他）	8.7%	
	無回答	1.2%	
居 住 歴	6か月未満	8.9%	
	6か月以上12か月未満	14.3%	
	1年以上3年未満	33.6%	
	3年以上5年未満	12.2%	
	5年以上10年未満	13.3%	
	10年以上15年未満	4.0%	
	15年以上	13.5%	
	無回答	0.2%	
職 業	自営業		8.6%
	会社員		22.1%
	公務員		5.3%
	アルバイト		8.4%
	派遣社員・契約社員		5.8%
	学生・専門学校生		3.0%
	家事専業		9.6%
	無職		25.6%
	その他・無回答		11.5%

(2) 言葉に関すること

外国人県民

○あなたは日本語をどれくらい話すことができますか。 ※単一回答

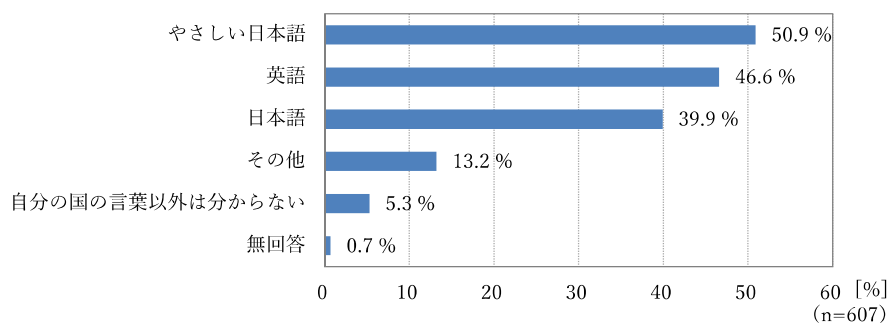
「簡単な日常会話を話すことができる」が最も高く 54.0%，次いで「考えたことや思ったことを自由に話すことができる」が 25.5% となっており，多くの外国人が，少なくとも簡単な日常会話を日本語で話すことができる結果となっている。



○あなたが自分の国の言葉以外で分かる言語を選択してください。 ※複数回答

「やさしい日本語※」が最も高く 50.9%，次いで「英語」が 46.6%，「日本語」が 39.9% となっており，多くの外国人が，少なくとも「やさしい日本語」を理解している結果となっている。

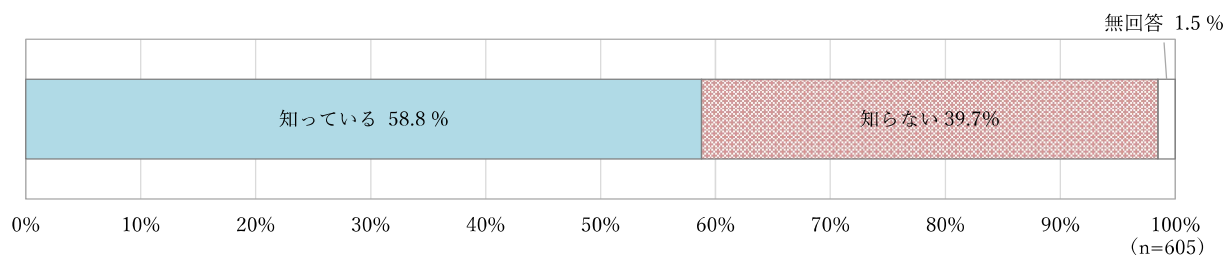
※やさしい日本語：難しい言葉を言い換える等，相手に配慮した分かりやすい日本語のこと



日本人県民

○あなたは「やさしい日本語」を知っていますか。 ※単一回答

「知っている」が 58.8%，「知らない」が 39.7% となっており，「知っている」と回答した割合が約 20 ポイント上回っている。

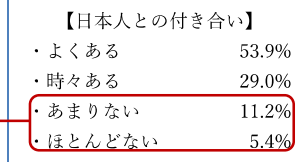
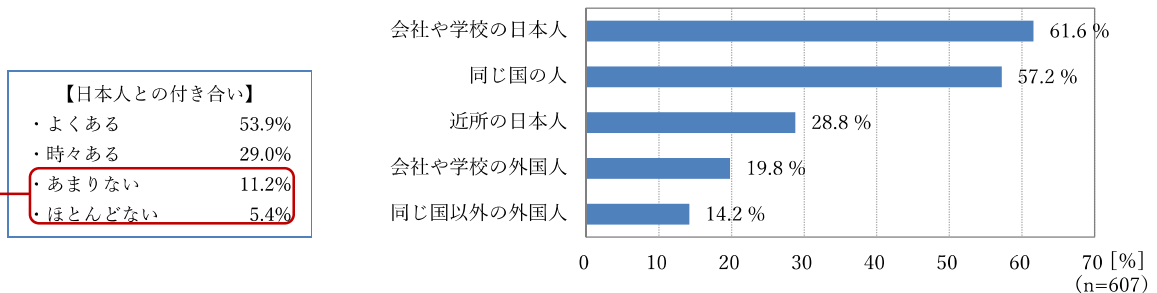


(3) 相互の交流に関すること

外国人県民

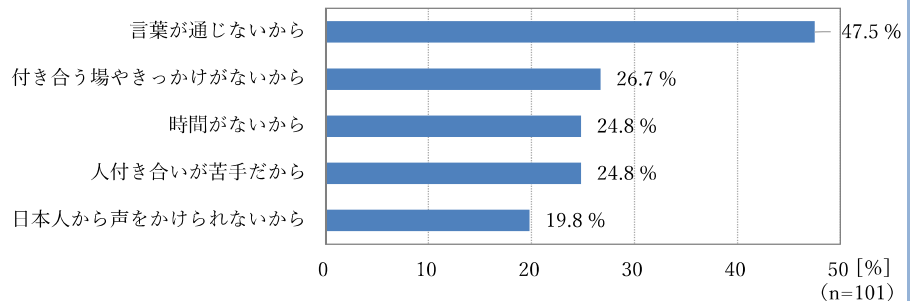
○あなたは普段の生活でどのような人と付き合いがありますか。 ※複数回答

「会社や学校の日本人」が最も高く 61.6%，次いで「同じ国の人」が 57.2%，「近所の日本人」が 28.8%となっている。



○日本人との付き合いが「あまりない」「ほとんどない」理由を選択してください。 ※複数回答

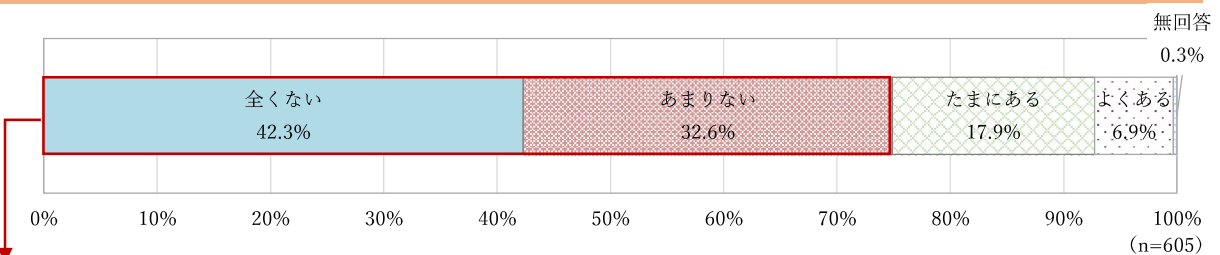
「言葉が通じないから」が最も高く 47.5%，次いで「付き合う場やきっかけがないから」が 26.7%となっており，言語の違いや交流の機会が少ないことが主な理由となっている。



日本人県民

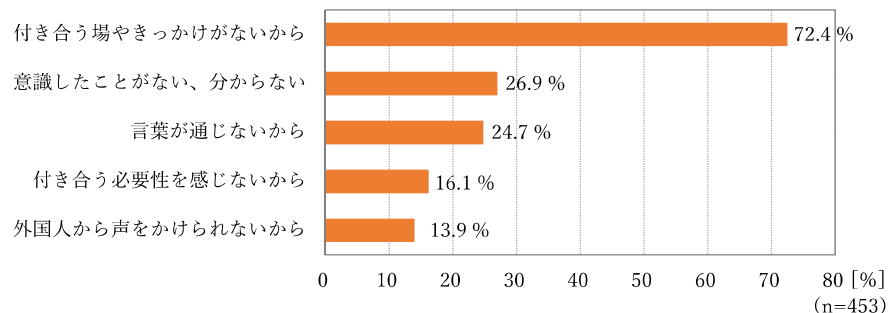
○あなたは現在，普段の生活で外国人と交流する頻度はどれくらいありますか。 ※単一回答

「全くない」が最も高く 42.3%，次いで「あまりない」が 32.6%となっており，多くの日本人が，外国人と交流する頻度が少ない結果となっている。



○あなたが日頃，外国人との付き合いがない理由は次のうちどれですか。 ※複数回答

「付き合う場やきっかけがないから」と最も高く 72.4%，次いで「意識したことがない，分からない」が 26.9%，「言葉が通じないから」が 24.7%となっており，交流の機会が少ないことや言語の違いが主な理由となっている。

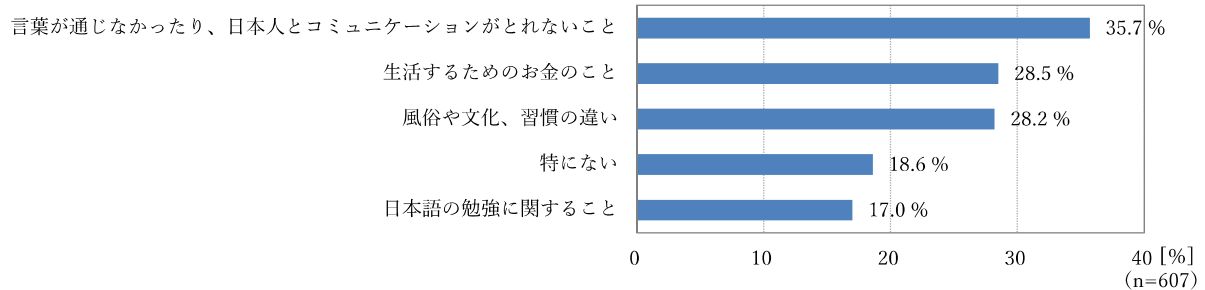


(4) 暮らしや意識に関すること

外国人県民

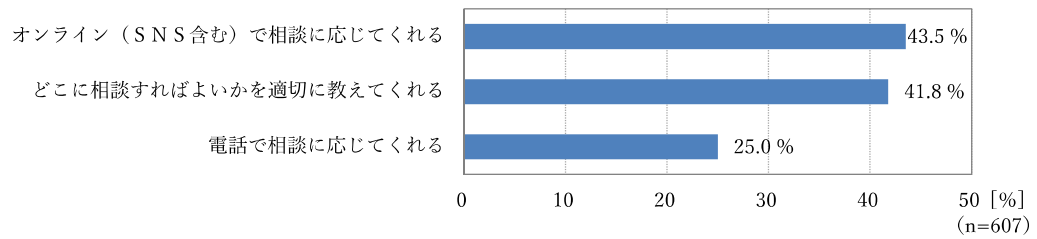
○普段の生活で困っていることや、不安に思っていることを選択してください。※複数回答

「言葉が通じなかったり、日本人とコミュニケーションがとれないこと」が最も高く 35.7%，次いで「生活するためのお金のこと」が 28.5%，「風俗や文化、習慣の違い」が 28.2% となっており、言語や風習の違い、経済的な問題などが主な不安の要因となっている。



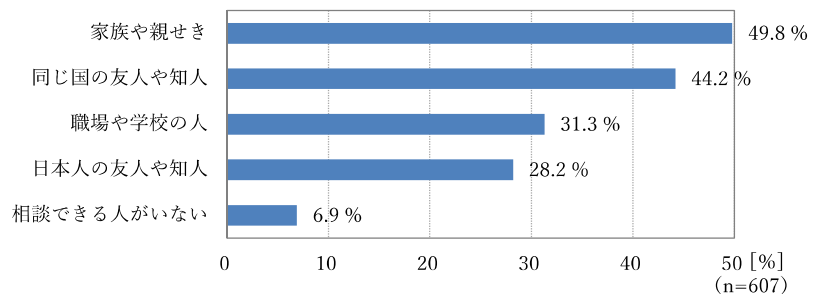
○不安や悩みが生じたときに、どのような支援があればよいと思いますか。※複数回答

「オンライン（SNS 含む）で相談に応じてくれる」が最も高く 43.5%，次いで「どこに相談すればよいかを適切に教えてくれる」が 41.8%，「電話で相談に応じてくれる」が 25.0% となっている。



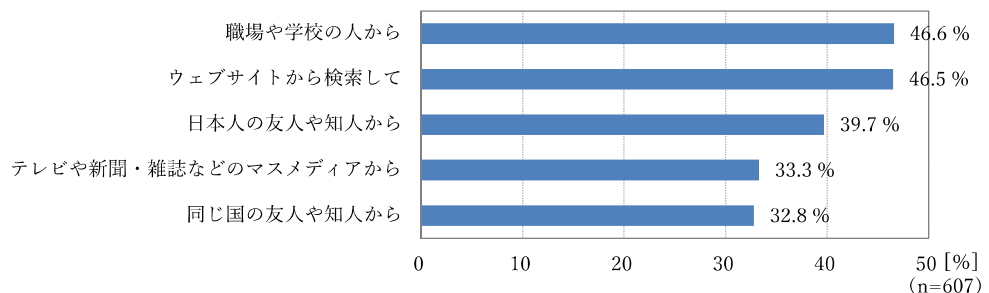
○あなたは生活の中で困ったときに誰に相談しますか。※複数回答

「家族や親せき」が最も高く 49.8%，次いで「同じ国の友人や知人」が 44.2%，「職場や学校の人」が 31.3% となっている。一方で、「相談できる人がいない」が 6.9% となっている。



○生活に必要な情報をどうやって得ていますか。※複数回答

「職場や学校の人から」が最も高く 46.6%，次いで「ウェブサイトから検索して」が 46.5%，「日本人の友人や知人から」が 39.7% となっている。

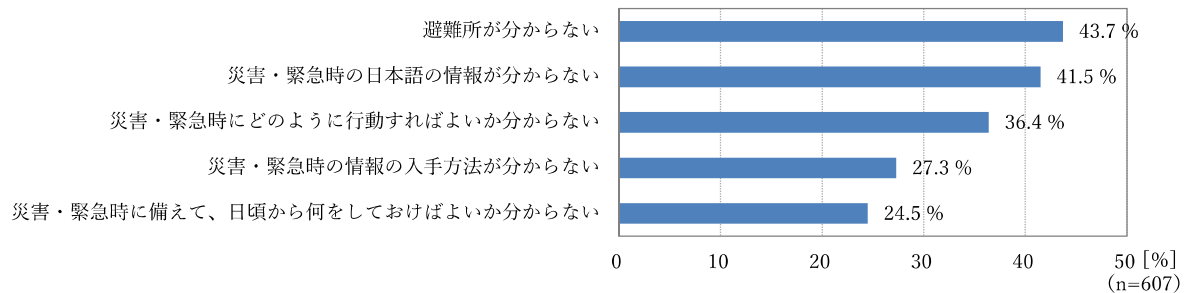


(4) 暮らしや意識に関すること

外国人県民

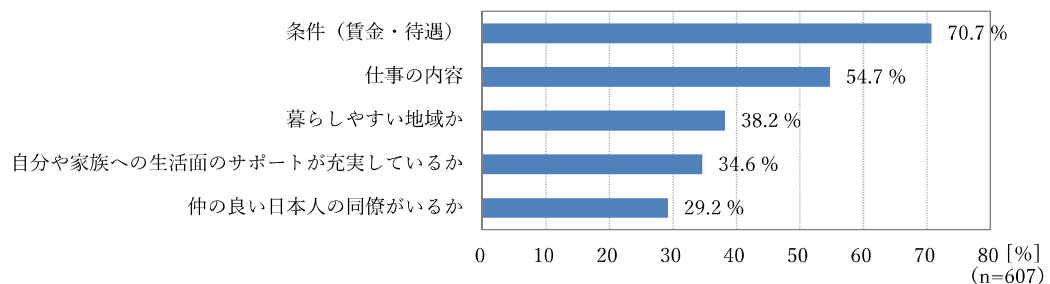
○災害時に不安なことは何ですか。 ※複数回答

「避難所が分からない」が最も高く 43.7%，次いで「災害・緊急時の日本語の情報が分からない」が 41.5%，「災害・緊急時にどのように行動すればよいかわからない」が 36.4% となっている。



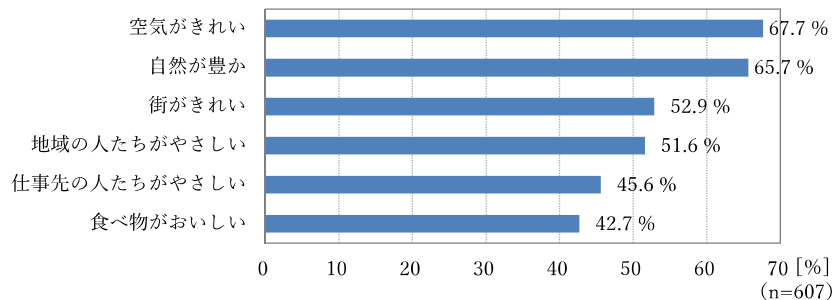
○仕事について、あなたが重要だと考えていることを選択してください。 ※複数回答

「条件（賃金・待遇）」が最も高く 70.7%，次いで「仕事の内容」が 54.7%，「暮らしやすい地域か」が 38.2% となっている。



○鹿児島県（あなたが住んでいる市・町）の良いところは何だと思いますか。 ※複数回答

「空気がきれい」が最も高く 67.7%，次いで「自然が豊か」が 65.7% となっているほか、「地域の人たちがやさしい」が 51.6%，「仕事先の人たちがやさしい」が 45.6% となっており、自然や人が主な良い点となっている。

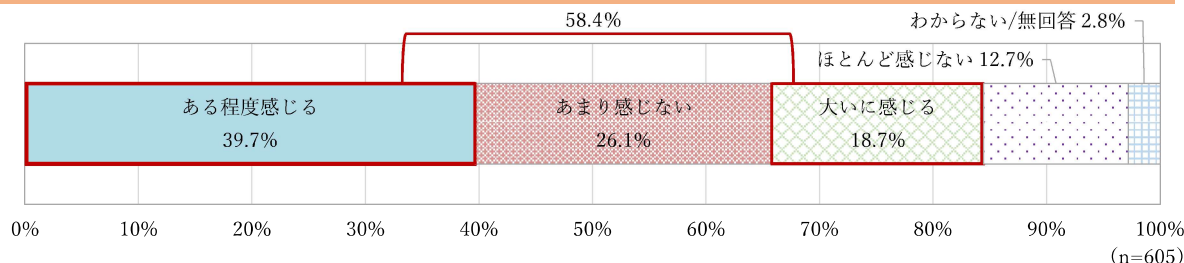


(4) 暮らしや意識に関すること

日本人県民

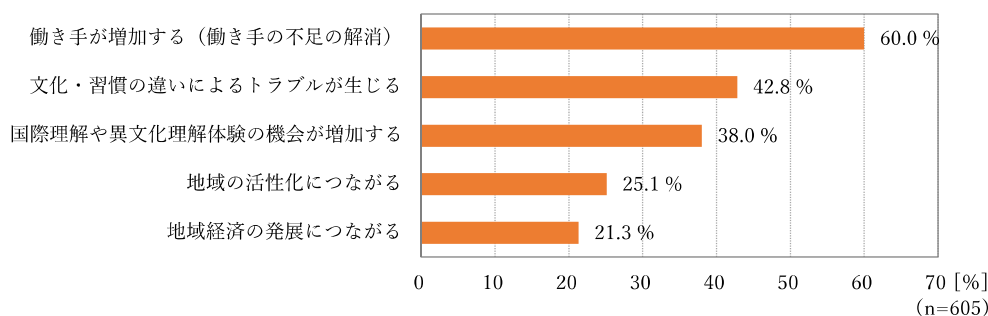
○あなたは最近、地域に住む外国人が増えてきていると感じますか。※単一回答

「ある程度感じる」が39.7%，次いで「あまり感じない」が26.1%，「大いに感じる」が18.7%となっており，6割近くが，外国人が増えていていると感じている。



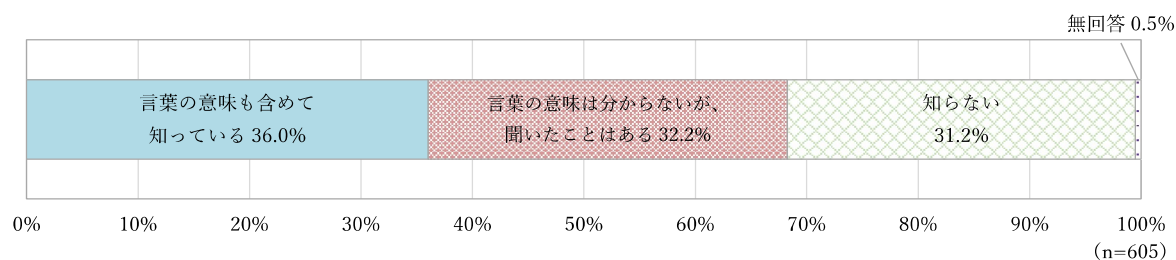
○地域に住む外国人が増えることについて，どのような影響があると思いますか。※複数回答

「働き手が増加する」が最も高く60.0%，次いで「文化・習慣の違いによるトラブルが生じる」が42.8%，「国際理解や異文化理解体験の機会が増加する」が38.0%となっている。



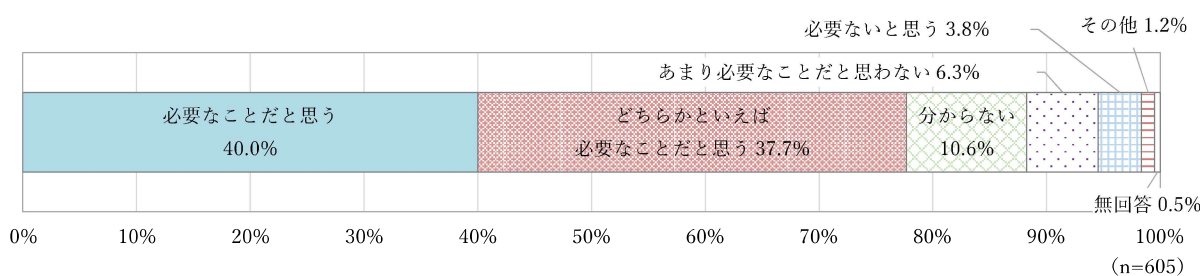
○あなたは「多文化共生」という言葉を知っていますか。※単一回答

「言葉の意味も含めて知っているが」が最も高く36.0%，次いで「言葉の意味は分からないが，聞いたことはある」が32.2%，「知らない」が31.2%となっている。



○鹿児島県で多文化共生を推進していくことについて，どう思いますか。※単一回答

「必要なことだと思う」が最も高く40.0%，次いで「どちらかといえば必要なことだと思う」が37.7%，「分からない」が10.6%となっている。



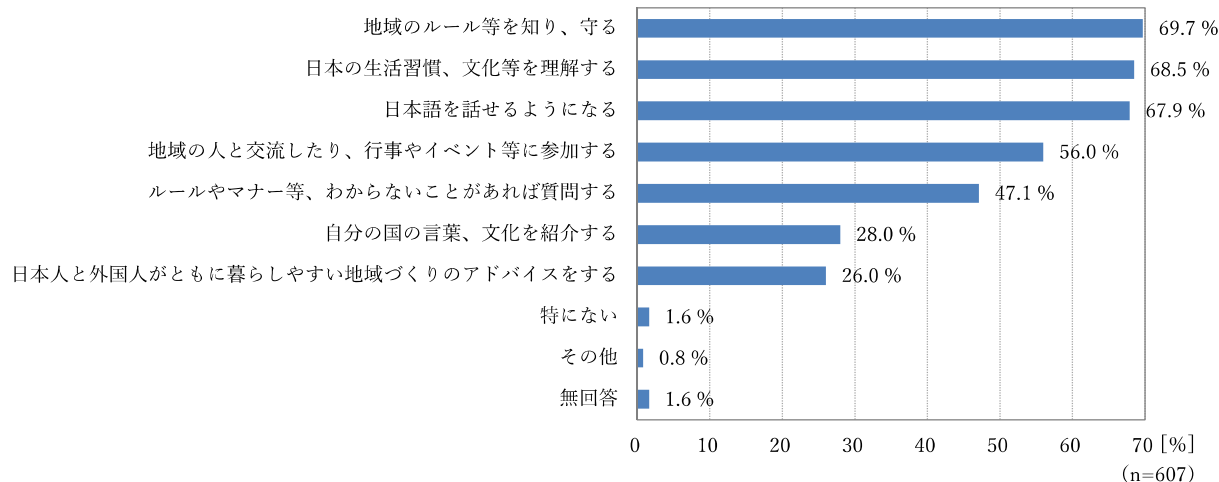
(5) 相互理解に必要なこと

外国人県民

○日本人と互いに理解しあって生活するために、外国人にはどのようなことが必要だと思いますか。

※複数回答

「地域のルール等を知り、守る」が最も高く 69.7%，次いで「日本の生活習慣、文化等を理解する」が 68.5%，「日本語を話せるようになる」が 67.9%となっている。

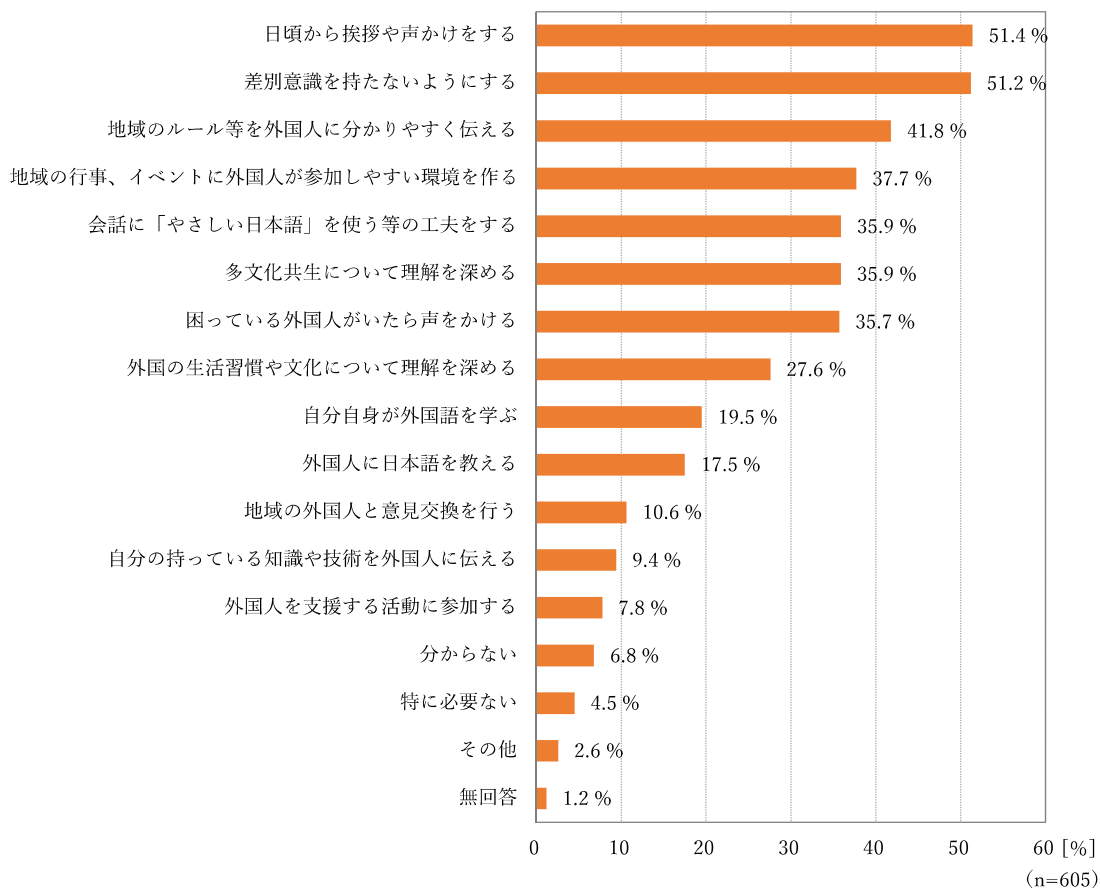


日本人県民

○外国人と互いに理解しあって生活するために、日本人にはどのようなことが必要だと思いますか。

※複数回答

「日頃から挨拶や声かけをする」が最も高く 51.4%，次いで「差別意識を持たないようにする」が 51.2%，「地域のルール等を外国人に分かりやすく伝える」が 41.8%となっている。

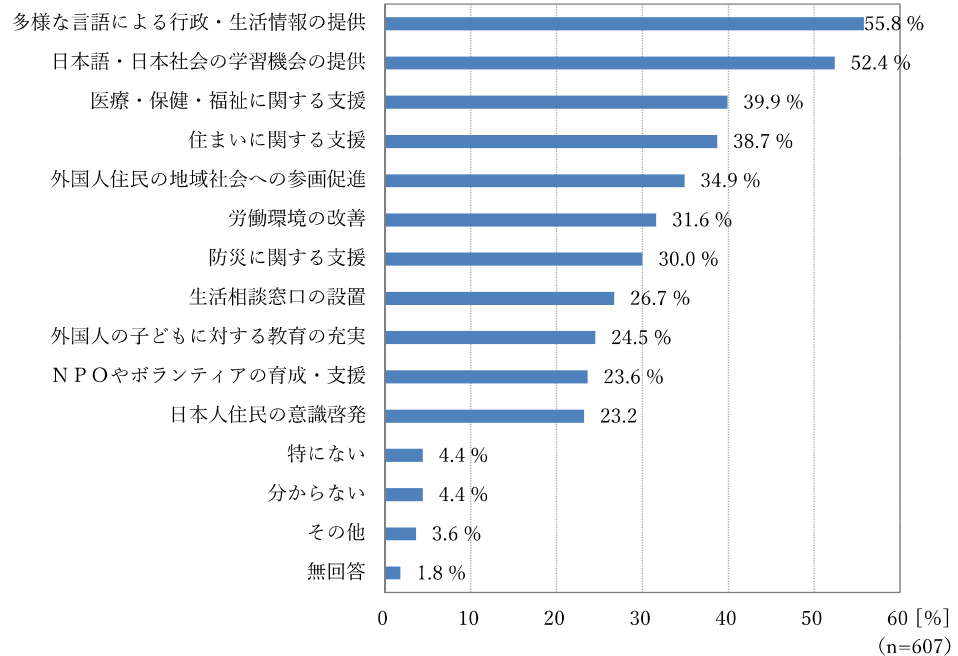


(6) 行政に求める取組

外国人県民

○鹿児島を暮らしやすくするために、行政にどのような取組を求めますか。 ※複数回答

「多様な言語による行政・生活情報の提供」が最も高く 55.8%，次いで「日本語・日本社会の学習機会の提供」が 52.4%，「医療・保健・福祉に関する支援」が 39.9%となっている。

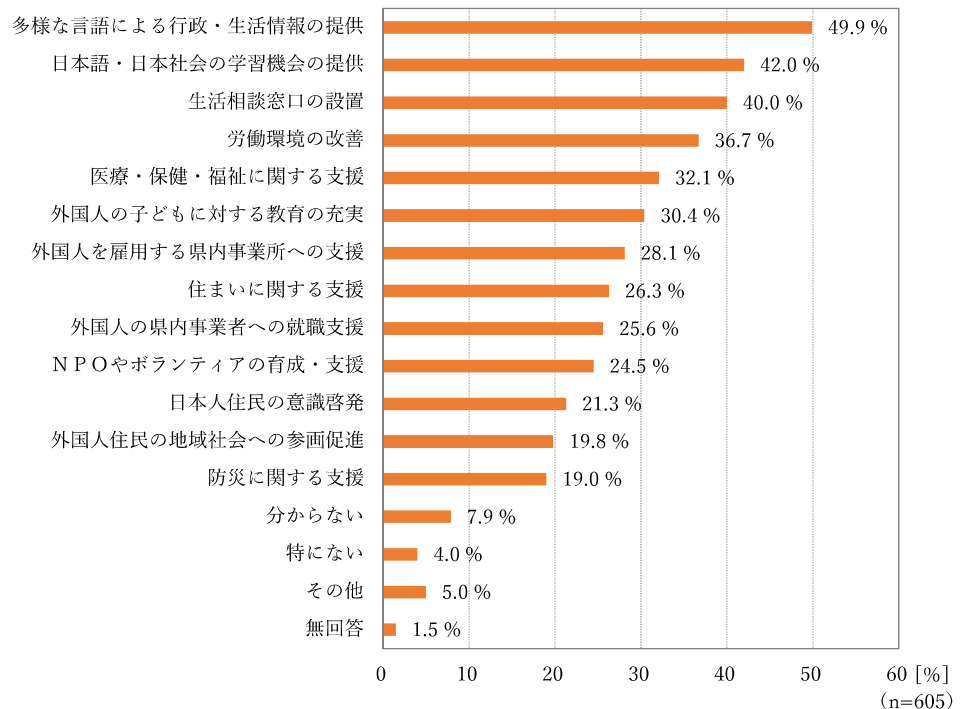


日本人県民

○地域で多文化共生を推進していくために、行政はどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。

※複数回答

「多様な言語による行政・生活情報の提供」が最も高く 49.9%，次いで「日本語・日本社会の学習機会の提供」が 42.0%，「生活相談窓口の設置」が 40.0%となっている。



3 ま と め

言葉に関すること

■外国人県民

- 「少なくとも簡単な日常会話を日本語で話すことができる」割合は 79.5%
- 自分の国の言葉以外で分かる言語は、「やさしい日本語」が最も高く 50.9%, 次いで「英語」が 46.6%, 「日本語」が 39.9%

■日本人県民

- 「やさしい日本語」の認知度は 58.8%

日本人県民に対する「やさしい日本語」の周知・活用促進

相互の交流に関すること

■外国人県民（日本人と付き合いがない理由）

- 「言葉が通じないから」が最も高く 47.5%, 次いで「付き合う場やきっかけがないから」が 26.7%

■日本人県民（外国人と付き合いがない理由）

- 「付き合う場やきっかけがないから」と最も高く 72.4%, 次いで「意識したことがない, 分からない」が 26.9%, 「言葉が通じないから」が 24.7%

外国人・日本人両県民の相互交流の場や「きっかけ」の創出

暮らしや意識に関すること

■外国人県民

- 普段の生活で困っていることや不安に思っていることは、「言葉が通じなかったり, 日本人とコミュニケーションがとれないこと」が最も高く 35.7%
- 不安や悩みが生じたとき, あればよいと思う支援は, 「オンライン（SNS 含む）で相談に応じてくれる」が最も高く 43.5%, 次いで「どこに相談すればよいかを適切に教えてくれる」が 41.8%
- 仕事で重要なことは, 「条件（賃金・待遇）」が最も高く 70.7%, 次いで「仕事の内容」が 54.7%, 「暮らしやすい地域か」が 38.2%

■日本人県民

- 地域に住む外国人の増加で影響があると思うことは, 「働き手が増加する」が最も高く 60.0%, 次いで「文化・習慣の違いによるトラブルが生じる」が 42.8%
- 「多文化共生」の認知度は 36.0%

外国人県民に対する情報の多言語化・相談体制の充実（関係機関との連携強化）
多文化共生の普及啓発

相互理解に必要なこと

■外国人県民（日本人と互いに理解しあって生活するのに必要だと思うこと）

- 「地域のルール等を知り, 守る」が最も高く 69.7%, 次いで「日本の生活習慣, 文化等を理解する」が 68.5%, 「日本語を話せるようになる」が 67.9%

■日本人県民（外国人と互いに理解しあって生活するのに必要だと思うこと）

- 「日頃から挨拶や声かけをする」が最も高く 51.4%, 次いで「差別意識を持たないようにする」が 51.2%, 「地域のルール等を外国人に分かりやすく伝える」が 41.8%

日本人県民に対する外国人の持つ多様性への理解促進
地域一体となった多文化共生社会の推進

多文化共生に関する実態調査 概要版

令和 7 年 3 月

〔編集・発行/調査主体〕鹿児島県 男女共同参画局 くらし共生協働課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 1 0 番 1 号

TEL : 099-286-2546 FAX : 099-286-5524